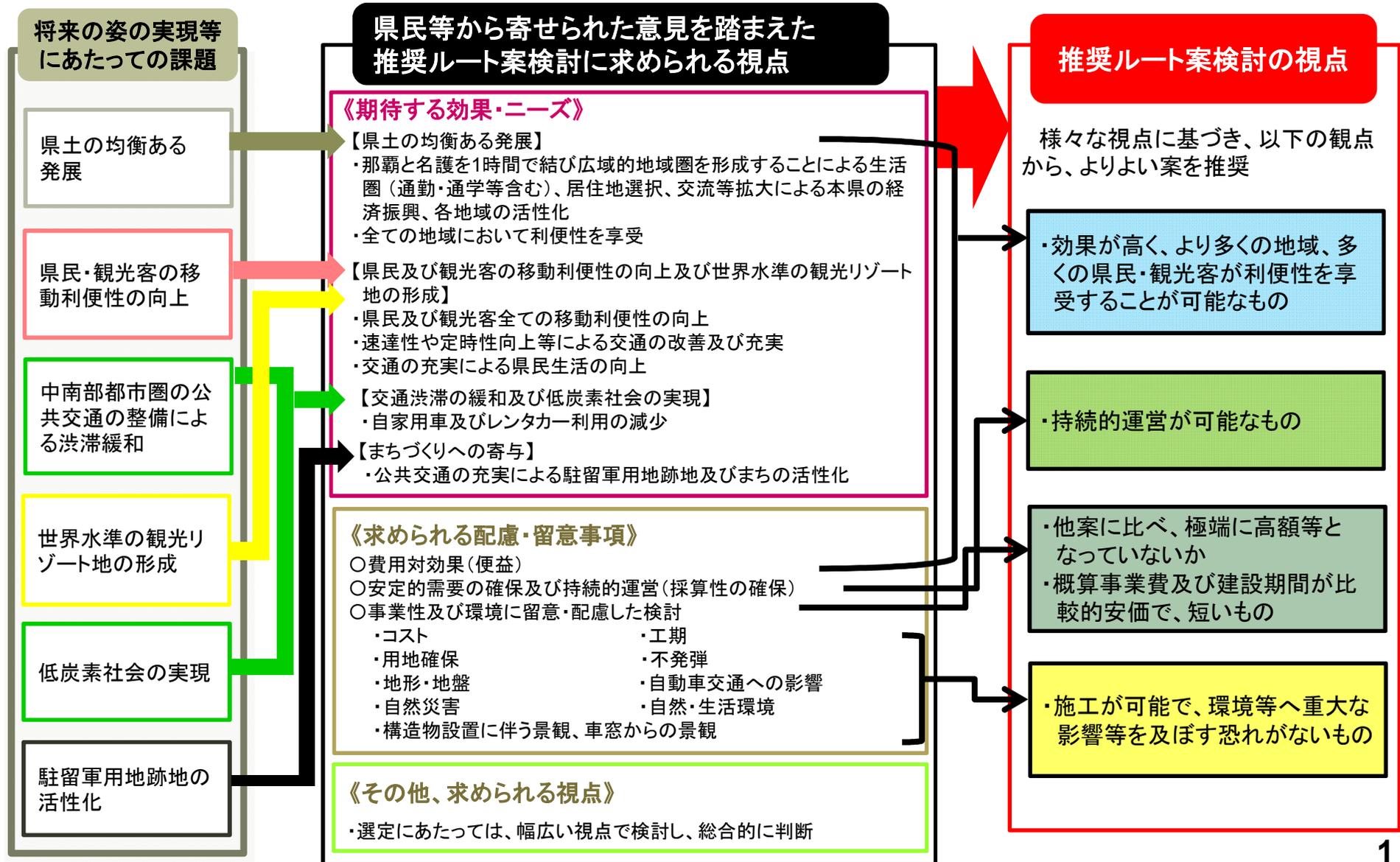


推奨ルート案の選定結果について

平成30年1月29日
沖縄県

1 推奨ルート案検討の視点

・第8回沖縄鉄軌道計画検討委員会において、将来の姿の実現等にあたっての課題や県民等から寄せられた意見を踏まえ、「推奨ルート案検討の視点」を整理の上、これに基づき、選定を行った。



2 推奨ルート案選定結果

・各ルートについて、評価指標毎に効果の程度等を把握の上、「推奨ルート案検討の視点」に基づき検討した結果、以下の理由により「C派生案」が推奨ルート案として選定された。

推奨ルート案として「C派生案」を選定

推奨ルート案の選定理由

- ①人口及び宿泊施設が集積する地域を經由し、かつ中部の東西いずれの地域からのアクセスも良く、両地域の需要を取り込むことができるため、
 - ・県民及び観光客いずれにおいても、鉄軌道および公共交通の利用者数や自動車から公共交通への利用転換量、便益が最も高く、
 - ・時間短縮効果も一定程度期待でき、移動圏域の拡大効果も最も高く、より高い効果が期待できること
- ②採算性については、上下一体方式(既存の都市鉄道の事業スキームと同様に、鉄軌道事業者の3分の1負担を想定)では、採算は取れないものの、現在、県が国に求めている全国新幹線鉄道整備法を参考とした上下分離方式(インフラ部分は公的機関の全額負担による整備を想定)を適用した場合、事業実施の目安となる開業30年～40年内での累積資金収支の黒字転換が可能であること
- ③概算事業費や建設期間については、やや高く、比較的長いものの、極端に高額ではなく最新工法等の採用等によっては、事業費の縮減も期待される等、縮減に向けた検討の余地があること
- ④事業実施にあたっては、施工中の自動車交通や自然・生活環境への配慮等が必要であるものの、計画段階以降、設計・施工上での対応等何らかの対策を講じることにより、重大な影響の回避、低減等が可能であること。